

お知らせコーナー

【まつやまNPOサポートセンターの講座・イベント情報】

講座・イベント名	日時・会場	内 容
NPOの助成金 チャレンジ講座	2019年 1/23(水) 13時半～15時半 コムズ3F会議室2	市民活動で必要なお金。その獲得方法のひとつに助成金があります。 自分には敷居が高いのではと感じて、応募を迷っているあなたにぴったりの講座を開催します。 【講座参加費】 無料 【定員】 20名（先着順） 【講師】 まつやまNPOサポートセンタースタッフ
介護現場から 見えてくる 男女の意識の違い ～介護をされる側を 考えたことがありますか～	2019年 2/3(日) 10時～11時半 コムズ4F会議室2	介護することばかり考えて、介護される側の立場を考えたことがありますか？ 介護をされる側の男女の心理と介護をする側の配慮について講座を行います。 【講座参加費】 無料 【定員】 20名（先着順） 【講師】 NPO法人 アクティブボランティア21 介護福祉士 戸川 節子氏
松山市生涯現役・ 市民活動交流集会 『生涯現役！ ～楽しもう 私らしい人生～』	2019年 2/23(土) 10時半～15時 コムズ全館	昨年度同様、松山市男女共同参画推進センター全館を会場とし、来場者300名を超える(昨年度実績)、年度末を飾る一大イベントです。 新しい団体も参加しますので、楽しさとともに、「あっ！」という新しい発見があるかもしれません。なお、今年特別に豪雨災害を受けた地域の方も出展されます。復興支援につながりますので、ご参加お待ちしております。 【参加費】 無料 先着200名に伯方の塩をプレゼント ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせはまつやまNPOサポートセンターまで

〒790-0003松山市三番町6丁目4-20コムズ内

Tel: 089-943-5790

Fax: 089-943-5796

Eメール: pico@npo.coms.or.jp

HP: <http://www.npo.coms.or.jp/>



まつやまNPO

検索

まつやまNPOサポートセンターの情報誌

サポセンだより

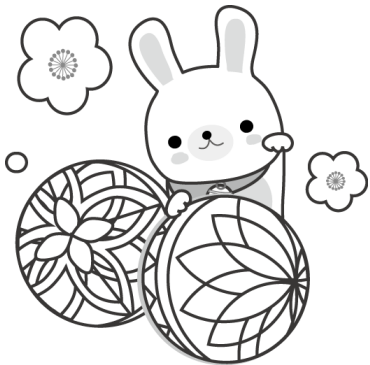


2～3P 特集 NPOとして活動中の事故に備える～賠償責任保険～

4～6P 報告 NPOヒロバアンケート集計結果報告

7 P レポート 市民活動ネットワーク「みんなの生活展2018」に出展

8 P お知らせコーナー



【発行】

まつやまNPO
サポートセンター

特集

NPOとして事故に備える～活動に関する保険～

NPOの様々な活動や事業を行う場合に、その代表者には、リスクが伴います。

それが社会貢献活動に於いても同じです。誰もが予測しないことが起こり、その責任を問われる場合があります。賠償責任は、お互いの人間関係の悪化や団体活動自体が消滅する原因にもなりかねません。そのようなリスクを回避するためにも保険の知識を備えておきましょう。

今回は、補償する対象が異なる二つの保険について、ご紹介いたします。

1. 【レクリエーション補償プラン(傷害保険)】

[ケース]

レクリエーション参加者全員が集合してから解散するまで、参加中の傷害事故を補償します。

[補償の対象]

・レクリエーション参加者全員(被保険者の名簿が必要)

[補償の種類]

- ・対象となるレクリエーションに区分(危険の度合い)があり、それに基づいた保険料が設定される。
- ・死亡、後遺障害保険、入院保険金(日額)、通院保険金(日額)

[参考保険金額]

レクリエーションの区分によって、異なります。

死亡、後遺障害保険	428万円～893万円
入院保険金(日額)	6,000円
通院保険金(日額)	2,500円

[参考保険料] 1日1人あたり 50円～350円

- [参考事例]
- イベント中にスタッフが脚立から転落をして、けがをした。
 - 団体活動への往復中、自転車で過って通行人とぶつかりケガをさせた。



「みんなの生活展2018」に出展

平成30年10月20日土曜日に大街道商店街で、「みんなの生活展2018 みんなで学ぼう!～ステキな生活へのヒント～」が開催され、市民活動ネットワークの所属団体が出展しました。その様子をお伝えします。

特定非営利活動法人
ワークライフ・コラボ



「子どもの育ち」についてのアンケートを実施したり、「まちのがっこう」事業などのチラシの配布や事業説明等を行いました。

団体の活動内容をお伝えして、活動を知っていただき、貴重な意見をいただくことができました。

ドッグフォーライフジャパン



来場者が介助犬、聴導犬と触れ合うことで、来場者から質問を受けたり、詳しく説明する機会を作ることが出来ました。

また、補助犬クイズを行い、正解をお伝えして、補助犬の正しい知識を案内しました。

NPOえひめ足の健康さぼーと倶楽部



足と靴のお悩み相談を行いました。足裏の体重バランスをみるポッドグラスで自分の身体のバランス等を知ってもらいました。

足の悩みは、高齢者だけでなく、子どもからもあり、老若男女問わずの相談に対して、対応しました。

ピアリンクinえひめ



ピアっ子(思春期ピアカウンセラー)の活動や、ママ向けの「リフレッシュママクラス」「ピアママクラス」活動紹介を行いました。

また、ピアカウンセリングについて案内することができました。

総括

ブースに来られた方々は、NPOのことを知らない方が大半でしたが、このみんなの生活展を通して、NPOの活動を知っていただくことができました。

中でも、街頭でのクイズやアンケートを行い、市民に自分たちの活動の何が伝わってないのか確認することができたこと、そして、活動の対象者から直接相談を受けることができたことは、意義のあることでした。今後も、多くの市民と触れ合えるイベントの参加を積極的に行います。

報告 登録団体データベース「NPOヒロバ」利用に関するアンケート 集計結果

●NPOヒロバの改善後の利用

・上記改善後、NPOヒロバを利用したいかのご回答では、ぜひ利用したい(18%)、利用したい(41%)、どちらでもない(33%)、あまり利用したくない(0%)、利用しない(3%)という結果となりました。

その理由として、以下の内容がありました。

- 現状で利用している
- 少人数で活動に限界があると思っている団体や発足して間もない団体への情報提供・宣伝協力等を点で活動するのではなく、NPOヒロバを使い線で結べるようになり、NPO活動がもっと活発に動くと思われる
- 団体情報の検索がしやすい
- 活用方法がわからないため
- 業務が複雑になり、パソコンに向かう時間が長くなるため
- NPO活動で松山がより良くなってほしい
- データベースがあった方がいい
- NPOの活動状況知りたい

などのご回答をいただきました。改善後、約6割の団体がNPOヒロバを利用したいという結果でした。

●その他、お気づきの点やセンターへのご意見

その他、お気づきの点やセンターへのご意見では、お礼のお言葉を多くいただき、ありがとうございました。また、ご意見の中ではいくつかご質問もいただきましたので、一部分のご質問についてご案内させていただきます。今後もNPOのよりよい支援のため、一層努力していきたいと思ひます。

2. NPOヒロバ Q&A

● 団体の情報を更新するにはどうしたらいいか

A. 更新するためには、以前、各団体のご住所にお送しておりますNPOヒロバのIDパスワード(団体ごとにちがいます)をご利用いただきます。当センターのホームページ左上「団体情報の変更・修正はこちら」をクリックし、IDパスワードを入力し、ログインします。その後、必要に応じて、団体情報を修正し、保存します。NPO法人は、一部変更できない部分があります。その場合は、日本NPOセンターに変更したい旨をご連絡ください。

NPOヒロバの委任状を提出していただいている団体は、当センターにて、代理更新を行っています。ご希望の団体は、センターまでご連絡ください。



特集 NPOとして事故に備える～レクリエーション賠償責任保険～

2. 【レクリエーション賠償責任保険】

[ケース]

イベント行事の遂行に起因して、参加者及び第三者に身体の障害が発生し、イベント主催者が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合。※行事参加者個人は、補償対象外



[補償の対象]

- ・第三者(観客等)
- ・参加者

[補償の種類]

損害賠償金	治療費、休業損失、慰謝料など(身体障害のみ補償対象)
緊急措置費用	被害者に対する応急手当、緊急処理などの費用
損害防止費用	損害の発生または拡大防止に努めるための費用
権利保全行使費用	第三者に損害賠償請求できる場合に、その権利を保全・行使するために支出した費用
訴訟費用	訴訟になった場合の訴訟費用や弁護士報酬など

[参考保険金額]

被害者1名あたり 3,000万円 / 1事故あたり 1億円

※保険金は、適用される法律の規定や相手の方の損害の額及び過失割合等によって、決定されます。



[参考保険料] 1日1人あたり 50円～350円(最低20名以上からの申込が必要)

[参考事例]

- ・強風の中行われた町民体育大会で、突風のため仮設テントが倒れ、鉄製の柱が参加者を直撃し、けが人が出た。
- ・展示会のお客さま誘導中に、お客さま誘導の不手際によりケガ人がでた。
- ・来場者に提供した飲食物が原因で、来場者が食中毒になってしまった(飲食物危険補償特約が必要)。

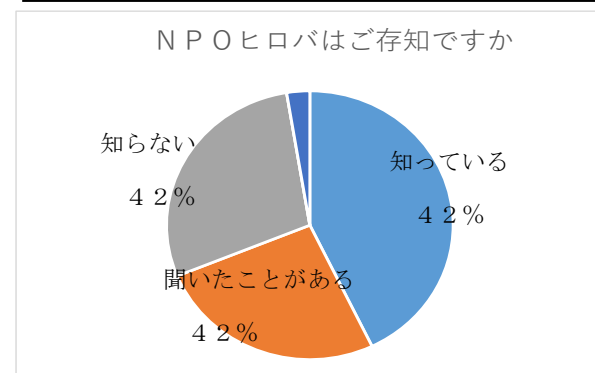
イベント行事にトラブルはつきものです。いざという時の為に保険加入を備えておくことは、リスク軽減につながります。

特集

松山市NPO登録団体データベース NPOヒロバアンケート集計結果報告

今回のアンケートでは、松山NPO登録団体を対象211団体(10月末時点)に、松山市NPO登録団体データベース NPOヒロバ(以下、NPOヒロバ)の利用状況について郵送、メールにて調査いたしました。回答数としては、77団体の方にご返答いただきました。集計結果及びいただいたご意見は、今後のセンター運営に活用させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

1. アンケート集計結果概要

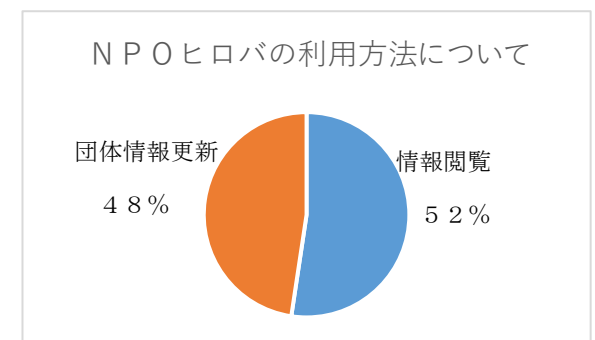


●NPOヒロバの認知度、利用頻度、利用方法

○NPOヒロバを知っているかというご回答では、知っている(42%)、聞いたことがある(26%)、知らない(29%)、記載なし(3%)という結果となりました。知っていると聞いたことがあるを合わせると、約7割の団体がなんとなく知っているという結果でした。

○NPOヒロバを利用頻度・利用方法についてのご回答では、利用したことがある(26%)、利用したことがない(69%)、その他(5%)という結果となりました。約7割の団体が知っていても利用したことがないという結果でした。

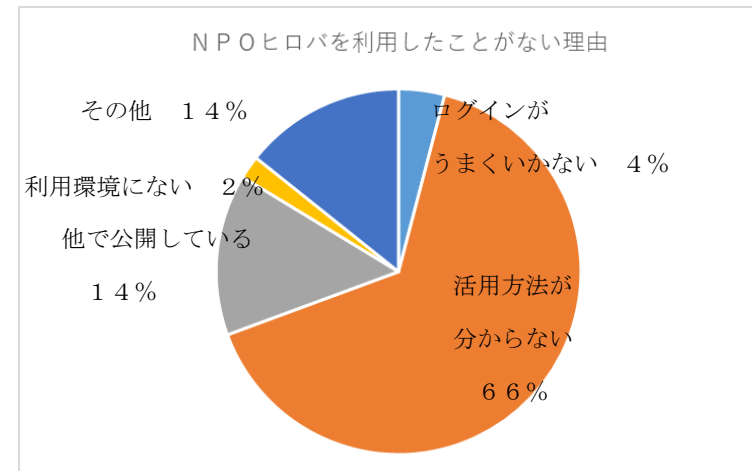
●利用したことがある方の意見



○利用したことがある方の「利用方法」は、情報閲覧が52%、団体情報更新が48%という結果となりました。「利用頻度」は、年単位利用78%、月単位利用が22%という結果となりました。「利用回数」は、年1～3回が最も多く、次に月1回程度という方が多い結果となりました。情報閲覧や団体情報の更新に、年1～3回ご利用いただいているという状況がうかがえます。

○NPOヒロバの使い勝手のご回答は、大変良い5%、良い58%、どちらでもない21%、やや悪い16%の順となり、悪い答えた方はいませんでした。その理由としては、「シンプルでわかりやすい」「情報が見やすい」「更新が手間」「詳細がない団体が多い」などの回答をいただきました。約6割の団体がNPOヒロバを使いやすいと感じているという結果でした。

●利用したことがない方のご意見



○利用したことがない方の理由では、「活用方法が分からなかったため」(66%)、「ほかの方法で団体情報を公開しているため」(14%)、「ログインがうまくいかなかったため」(4%)、「インターネットやパソコンなどの利用環境がないため」(2%)。「その他」(14%)という結果となりました。その他では、「存在を知らなかった」「現状では更新する余裕がない」などのご回答をいただきました。約7割の団体が活用方法がわからないため、利用したことがないという結果でした。

●NPOヒロバの改善案

NPOヒロバを利用するために改善してほしいことについてのご回答では、主に以下のようなご意見(一部抜粋)をいただきました。

①一般市民等への周知啓発

- ・もっと市民に知ってもらえるもの(誘導、告知、広報など)にする。NPOの信頼が高まるものとなってほしい。

②団体への活用方法や情報更新方法などの周知啓発

- ・気軽に他の団体との交流や意見交換ができる。
- ・写真や動画での団体紹介や活動報告・イベント情報等を掲載できる。
- ・アクセスランキングや使い方の指導など更新しやすさやモチベーションの維持できるようなことをする。
- ・検索結果を見やすく、必要な情報をヒットしやすくする。
- ・報道関係者などへプレスリリースできる機能がある。など

③その他

- ・サポートセンターのホームページのトップ画像からアクセスしやすくしてほしい。